

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)2月25日 No.1083

## 目次

1997年ロシア金融・証券市場の回顧.....D. ウォロンツォフ	1
ーパースン.....	7
アゼルバイジャンで外相が解任される／7	
統計速報.....	8
1997年のロシアの税収／8	
データフラッシュ／8	
ホームページ拝見(17) ロシア・CISのインターネット・イエローページ.....	9
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	9

## 1997年ロシア金融・証券市場の回顧

### はじめに

当会では、『調査月報』の「データバンク」のコーナーに、「ロシアのマーケット」と題する金融・証券市場レポートを四半期ごとに掲載している。このほど、1997年の年間レポートが完成したので、本誌においてこれをいち早く紹介することにする。

### 1. 金融・証券市場の概況

1997年のロシアの金融・証券市場の展開は、2つの段階に分けることができる。第1段階が1月から10月に入るまで、そして第2段階が10月から12月までである。

第1段階の期間中は、金融・証券市場のすべての指標が好ましい推移を示し、ロシア経済全般が健全化しつつあることを裏付けているかに思われた。さらに言えば、金融・証券市場は、経済発展の先兵の役割を果たしていたと言ってもいい。1997年の1～9月期には一貫して、好調なマーケットが、多かれ少なかれ、経済全般の健全化を促していたのである。

ルーブルの為替レートは安定しており、ドルに対する緩やかな下落率が保たれた。短期国債(GKO)の平均利回りは引き続き低下し、GKO市場は投機対象ではなくなった観があった。中央銀行が公定歩合を段階的に引き下げたのを受け、銀行間コール市場の金利も低下していった。株式市場でも、主要銘柄の株価が大幅に上昇した。1997年に入って、国や自治体だけでなく、